

Vol.  
04

絆

KIZUNA

## 会長挨拶

## 会員の皆様

京都産業大学附属中学校高等学校同窓会

会長 堺 紀恵子



お元気で、各々のお立場でご活躍のことと存じます。

成安中学校・高等学校から京都産業大学附属中学校  
高等学校に校名変更し、令和7年3月1日には第18回卒  
業生396名が単立ち、新同窓会会員となっていただけ、  
また一段と若返りました。嬉しく思っております。

その間、同窓会運営は学校側のご尽力、ご支援いただ  
き同窓会のあり方など模索しながら軌道に乗って参りま  
した。

今年度は過去最多の入学生、高等学校405名中学校  
110名が校門をくぐりました。

はれやかな中にも緊張した面持ちの新生入生は、微笑ま  
しい風景でした。同窓会は例年来賓として参列致してお  
ります。青春の1ページを学舎で過ごす楽しさ、苦しみ、  
悩み、希望など、いっぱい学びと一緒につめこんで  
ください。卒業生に対しては恩師からはなむけの言葉  
を、お聞きになったと思います。私も担任の先生から受  
けた言葉を、歳を重ねてきた今まで「座右の銘」として  
指標にしてみました。「常に正しい判断」です。

物事を判断する場面が色々ありました時、ささやかな  
思いでも「正しく」をモットーに信念を持って過ごして参  
りました。

また、線を引くにつけても手元で1分狂ったら先の工程  
その中は広がる。これも基礎基本の大切さを教わり、日  
常生活に取り入れていきます。次に押印です。ゆっくり丁寧  
にきちんと押せるように、数多く押印を体験いたしまし  
たが、常に押印の責任を思いつつ実践してきました。これ  
らのことは恩師を懐かしむとともに高校生活を思い出し、  
ほっこりとする時間です。

会員の皆様も今は感じなくとも、折々にふれ、ほのぼ  
のとした思い出が湧き出してくることでしょう。大切に育  
んでください。同窓会へのご支援をお願い申し上げます。



## 人生100年時代を逞しく生きる 生徒を育てる

京都産業大学附属中学校・高等学校

学校長 山田 亘

同窓会会員の皆さん、こんにちは。この春より京都産業大学附属中学校・高等学校の校長職を務めさせていただくことになりました山田 亘と申します。学校の発展のために、微力ながら最善を尽くしてまいり所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度より新たに進めさせていたただいております取り組みについてお話をさせていただきます。一つ目はむすびわざ館3・4階の活用についてです。今年度より大学の施設であるむすびわざ館の3・4階を全面改装し、中学校・高等学校の施設 (Inter-Link HUB) として活用させていただくことになりました。授業では高校の探究学習である「人間学」

や「キャリアデザイン」などで、放課後はαゼミ(高校特進コース2年次3学期からスタートする予備校講師による受験対策講座)の会場や自習スペースとして活用しています。また、優秀な大学生メンターを置いて、さまざまなイベントの実施や質問対応にあたってもらっています。本校として念願であった放課後学習のための拠点を整備することができました。

中学校では今年度から、授業日ではなくなった土曜日を活用して、年に10回程度の土曜講座をスタートさせました。生徒たちの興味関心の幅を広げるため、教科としての講座だけでなく、「写真講座」や「黄金比を使って写真を撮ろう」や

「京都国立博物館に行こう」、「本の舞台を巡る聖地巡礼」清水寺を訪ねる」など、ユニークな講座もたくさん準備しました。

高校1年次の特進コースでは、STEAM教育プログラムを新たに導入しました。「ドローンを活用した動画制作」「科学技術を学び、SF作品を制作する」「自然から学ぶデザインで世界課題を解決する」の3つです。

高校2・3年生のKSUCORスでは、KSUAアワーをスタートさせました。KSUAアワーでは、キャリアナビなどを使って、「自分はこういったことに興味関心があるのか」を考え、そこから発展して「大学の学部・学科選び」、さらには「職業選

択」に至るまで、自分が将来進むべき進路について模索します。

人生100年時代を迎えるにあたっては、一生学び続け、自らをスキルアップしていく姿勢を持つことが大切です。本校はほとんどの生徒が京都産業大学をはじめとする様々な大学に現役で進学する学校ですが、大学入学は決して人生のゴールではありません。大学生になっても、社会人になっても、常々考え、学び続ける姿勢を持ち続けることのできるマインドを持った生徒を育てていきたいと考えています。



盛夏の候、同窓会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、附属中学校高等学校の教育活動に一方ならぬご支援を賜っておりますこと、心より御礼申し上げます。さて、私こと、令和7年3

この9年間を振り返りますと、学校を取り巻く環境には、様々な変化がありました。特にコロナ禍での4回に渡る緊急事態宣言下では、誰もがこれまで経験したことのない苦難の連続で様々な試練を経験しました。しかし、これま

時代の流れと共に、教育の手法がいかに変わろうとも教育の本質は「人を育てる」ことにあります。目の前の生徒たちと私たち教職員が真摯に向き合い、その可能性を信じて教育に携わらせて頂いた日々は、私にとってかけがえのな

校長に就任されました。「挨拶」の大切さを訴えられ、ご自身も立門指導を実践され時代に即した良き学校づくりにご尽力されています。どうか皆様におかれましては、これから変わらぬご厚情をもって母校を支えていただきますよう、

## 退職の挨拶

### 退職にあたって

—感謝の気持ちを込めて—

京都産業大学附属高等学校  
教諭（数学科）

齊藤進一

大学卒業後、公立高校に奉職しましたが1年で退職し、私学教員に転向しました。前任教で21年、本校で19年、41年間の教員生活のうち40年間を私学人として過ごしました。前任校でも本校でも学校の立ち上げから関わらせて頂き、なかなかできない経験をさせて頂きました。充実した41年間でした。

外部進学を目指すコースを主に担当させて頂きましたが、単に大学に合格させるだけではなく、担当した一人一人の生徒が、将来にわたって充実した楽しい人生を送れる一助になればと思いつながりの教育活動でした。すべてが楽しい思い出です。

コロナ禍での教育活動は本当に大変でした。慣れないオンライン授業に四苦八苦し、PCに詳しい先生方には本当に迷惑のかけ通しでした。どうかお許しください。



### しあわせな 教師生活でした

京都産業大学附属高等学校  
教諭（公民科）

上羽敏仁

定年退職を前に、同窓会会報誌への寄稿依頼がありました。前身の成安女子から脈々と受け継がれる同窓会ですの

で万感の思いがあります。26歳で奉職して40年、馬車馬のように働いてきた記憶しかありませんが、子供たちに関わって充実した日々を送らせてもらえて本当に幸せな人生です。教員という職業に出

会えたことに心から感謝しています。私事ですが、昨年、念願だった槍ヶ岳に登頂しました。本格的登山などはできませんが、体が動くうちに北岳や奥穂高岳に登りたいと思っています。末筆ではございますが、京都産業大学附属校の今後の繁栄を心よりお祈り申し上げます。



## ご挨拶

京都産業大学附属中学校・高等学校  
特別顧問

福家崇明

月末をもちまして9年間に渡りお世話になりました校長を退任させて頂きました。4月からは特別顧問に就任させて頂きこれまでの経験を少しでも活かし、微力ながら本校の発展に尽力させて頂いております。

で当たり前だと思っていたところが実はとても有難いことであると再認識する大切な経験でもありました。本校の教育目標は、「豊かな教養と、全人類の平和と幸福のために寄与する精神を持つた人間の育成」であります。

い時間であり、多くの学びを得た9年間でありました。この間、同窓会の皆様から頂きました母校への力強い応援の声は、私自身にとって大切な心の支えでありました。本当に有難うございました。令和7年4月からは山田亘先生が

心よりお願い申し上げます。末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

## 京都産業大学附属中学校高等学校

## 同窓会の皆さまへ



学校法人京都産業大学 理事長 山田 啓二

学校法人京都産業大学理事長の山田啓二です。生徒が希望を胸に京都産業附属中学校・高等学校に入学し、校訓にあるとおり「知性・品格・気概」をもって「生きる力」を身に付け、大学進学から社会へと羽ばたいていけるように、校長先生をはじめ教職員一体となって充実した学びの場を築くべく尽力してまいります。

京都産業大学附属中学校高等学校同窓会は、大正9（1920）年に設立され、平成19（2007）年に現在の名称へ変更されました。長い歴史の中で多くの卒業生を輩出し、現在では3万人を超える会員が国内外で活躍し、母校との絆を深める貴重な場を創造されてきたこと、心より厚く御礼申し上げます。

私達学校法人京都産業大学は、昭和40（1965）年に創立され、「建学の精神」のもと発展を続け、現在では10学部、大学院10研究科

を擁する京都産業大学、そして附属中学校・高等学校、すみれ幼稚園から成る総合学園へと発展を遂げました。

日本が少子高齢化に直面し、世界が変革を遂げる中、本法人が進む道は決して平坦ではありませぬ。しかし、創立60周年を迎える京都産業大学は「Be Innovative」のスローガンのもと、伝統に革新を重ね、未来を背負う若者が生きていく力を身につけられるよう、挑戦を続ける決意です。さらに、2年後の令和9（2027）年に創立20周年の大きな節目を迎える附属中学校・高等学校では、生徒の自主性を高めるため、京都産業大学むすびわざ館の3階・4階に「Inter-Link HUB」を新設しました。ここが新たな交流・創造の場となり、同窓の皆さまとともに、未来を切り拓く生徒たちを育てていきたいと願っております。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 新校舎「Inter-Link HUB」が誕生！



2025年4月、本校に隣接する「むすびわざ館」の3・4階が全面リニューアルされ、新たな学びの場「Inter-Link HUB（インターリンクハブ）」が誕生しました。「生徒一人ひとりの可能性を育む」をコンセプトに設計されたこの空間には、グループディスカッションやプレゼンテーションなどグループ学習を活性化させるスペース、壁一面に映像を投影できる大型プロジェクターを備えたプレゼンテーションエリア、最大160名収容可能な大教室など、さまざまな学習スタイルに対応した設備が充実しています。また、放課後には自習スペースとして開放され、仲間と学び合うグループ席や、一人で集中できる個別ブースなど、自分に合った学習スタイルを選ぶことができます。加えて、生徒に年齢の近い国公立大学の学生を中心としたメンターが、「Inter-Link HUB」に常駐し、日々の学習サポートや進路相談、大学入試対策まで、放課後の学びをサポートします。生徒が学内外とつながり、互いに学び合いながら、主体的に挑戦できる場として、新たな学びの可能性を広げます。



## クラブの紹介

### サッカー部

京都産業大学附属高等学校

教頭・サッカー部顧問 **仲井和哉**



サッカー部は「サッカーを通じて豊かな人生を送る」ことを目的に、個人の成長とチームの成功を願い日々活動しています。校訓である『知性・品格・気概』をピッチ内外で表現し、  
 ・もう一度見たいと思ってもらえるゲームを  
 ・見に来てくれた人に笑顔で帰ってもらおう  
 このようなゲームをすることが目標です。  
 平成28年度の第95回全国高校サッカー選手権大会では京都府予選で決勝戦まで駒を進め、全国大会まであと一步のところまで迫りました。準決勝、決勝戦

と西京極総合運動公園陸上競技場にて有料観客試合で行われ、多くの在校生や卒業生、学校関係者に現地で応援いただきました。その際には、在校生のチケットを同窓会の皆様のご協力で準備いただきましたことでも多くの応援を背に試合ができ、非常に心強く選手たちの励みになりました。心より感謝申し上げます。  
 着実に力をつけ、上位進出を虎視眈々と狙ってはいますが、先述の9年前の大会ほど皆様の耳目に触れるような目立った活躍はできておりません。是非また同窓会の皆様が誇りに思っていただけのような活躍ができる



よう、今後も元気に活動してまいります。応援よろしくお願ひ申し上げます。

## STEAM教育

### 新たに始まるSTEAM教育

京都産業大学附属中学校・高等学校

副校長 **湯浅了太**



今年度より本校で導入した「STEAM教育」についてご紹介いたします。STEAMとは、科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、芸術 (Arts)、数学 (Mathematics) の頭文字を取った、教科横断型・体験型の学びです。変化の激しい社会において、知識の習得だけでなく、自ら考え、試し、表現する力がますます求められています。  
 その一環として、7月26日(土)、高校1年生特進コースの生徒を対象に、プロのドローン集団「D株式会社」様を講師に迎え、ドローンプログラムを実施いたしました。生徒たちは、ドローンが浮遊する原理を物理の視点から学び、グループで映像を企画・撮影・編集し、作品として完成させたうえで発表しました。  
 「どう撮れば伝わるか」「どんな編集が印象に残るか」といった工夫を重ねる中で、創造力や表現力を大いに育む機会となりました。今後の展開にもどうぞご期待ください。



## 学校の様子

### 研修旅行

KSUコースの研修旅行は、1年次に「研修旅行実行委員会」を立ち上げ、生徒自らが企画し旅行先をプレゼンテーションによって決定しています。今回の行先はマレーシア、グアム、福岡・大分、オーストラリアです。数日間の旅を通して、多くの学びや出会いがありました。思い出を胸に、それぞれが一回り成長したことと思います。今回の経験が、今後の学校生活に活かされることを願っています。



マレーシア



福岡・大分

## 同窓会室リニューアル

現在同窓会では、卒業生の皆さまがより快適にご利用いただけるよう、同窓会会室の整備を進めています。

これまで同窓会会室で保管していた成安高校に関する造形物（校訓の石碑のレプリカや扁額、校歌の石碑等）は、成安造形大学に保管場所を移すことになりました。大学では瀬尾チカ先生の生誕140年に向けて色々ご準備なされているようで、同窓会役員でもまた訪問させていただきたいと思っています。

さて、この度の整備に伴い、新たに卒業アルバムを収納閲覧できる棚を用意いたしました。卒業アルバムを棚にならべてみると見えてくるものがありました。卒業アルバムは1927（昭和2）年からはじまり、現在に至るまで98年分あります。この98年の間には戦争を挟んだ時期もあり、欠損しているアルバムが14年分あります。その中でも1945〜1952年の8年間が連続して抜けています（1938年も欠損。その他は近年のもの）。

これらのアルバムが紛失したもののか、元からつくられなかったのか、いろいろな疑問が湧いてきました。

そこで、学校資料に詳しい本校に勤務する中尾先生およびそのお知り合いの有識者の方々にご意見を伺ったところ、「アメリカの統治下にあった1945〜1952年の時期は、完全に手作り、または制作していない私立学校が多かった」ということをお伺いしました。また、「卒業アルバムは法令で何ら定められていないものなので、当時のことをご存知の方がおられたら面白い情報が聞けるかもしれない」との事でした。

卒業生の皆さまの中で、お手元に該当年の卒業アルバムをお持ちの方がおられましたら、同窓会までお知らせいただけますと幸いです。ご多用のところ恐れ入りますが、今後の運営に役立てたいと考えております。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

一番古いアルバム



旧書棚



リニューアル



同窓会では今後メールにて様々なご案内を送りする予定です。以下のURLよりご登録をお願いいたします。

<https://dousokai.site/ksu-jsh/mailadress/>

こちらのQRコードからもアクセスできます↓



### 同窓会より学校への寄贈品

同窓会副会長 飯田美代子

同窓会では毎年教育支援の一環として、設備・物品等を寄贈させて頂いております。

令和6年度は、玄関ロビーに設置されている大型テレビモニターを新しく寄贈致しました。様々な情報を提供できるシステムとして在校生の皆様にご活用頂けたら幸いです。



## 2024年度 総会の様子



吹奏楽部演奏



懇親会の様子

昨年度も総会と懇親会を開催しました。特別公演会の第1部は、成安女子高等学校の卒業生で、1996年アトランタオリンピック（6人制バレーボール）、2000年シドニーオリンピック（ビーチバレーボール）、2008年北京オリンピック（ビーチバレーボール）に出場し、以来女子ビーチバレー界の第一人者としてその道を切り開いてこられた佐伯美香氏より『夢をあきらめない』というテーマでお話をいただきました。第2部の演奏会では、本学吹奏楽部のみなさんが昨年の甲子園で優勝された京都国際高等学校の熱闘を応援してきた熱い思いのこもった演奏そのままに、幅広い世代から愛される楽曲で会場が盛り上がりました。懇親会は学校の食堂「つむぎ亭」で昼食をいただきながら、久しぶりに顔を合わせる恩師や旧友との会話が弾んでいる様子でした。楽しい時間を過ごせたと感想をいただきました。



佐伯美香さんサインの数々



講演の様子

## 卒業生の活動

「あの頃に帰る時間」

高等学校を卒業して36年になります。集まれば今でも変わらず笑いあり、涙あり、笑い涙ありと心も気持ちもすっかり女子高生に戻りとても賑やかです。あの頃にタイムスリップします。



同窓会総会・懇親会がきっかけとなり、新たに声を掛け合い少しずつ集まれるようになりました。恩師にも声をおかけして参加して頂いております。昨年の同窓会総会では同級生でもある佐伯美香さんが講演をしてくださり懇親会では同級生としてお話もでき、卒業以来の出会いに感激しました。佐伯さんが伝えてくれた「夢をあきらめない」を胸に日々過ごし、これからも応援していきたいです。これからも集まりを続けていきたいです。  
(平成2年卒業生)

「クラス会を支援いたします」

6月に同窓会の「パイロット企画」として、平成3年商業科卒業35周年記念同窓会を開催しました！今回、2クラス84名中36名が住所不明の段階から、幹事の連絡先を数珠つなぎをし、最終73名の仲間に連絡ができました。

当日はお世話になった恩師5名をご招待し、昔に戻って、想い出話を花を咲かせることができました。このご縁で、次回は40周年同窓会を目指そうと思っております！！パイロット企画は、個人情報保護法の観点から幹事に個人情報を開示することなく、同窓会から卒業生名簿の管理を委託されている株式会社サラトを介し、案内状を送付してもらうシステムです。

同窓会をお考えの方は一度総会にお越し下さい。お待ちしております。



会いたい時に会える今だからこそ！

「活躍する同窓生」

「えたにまさし」改名「恵谷昌史」  
(よび名は変わらず)

2017年9月21日 高校2年生中にプロデビュー、2018年卒業、その年の同窓会総会に出演。

2023年春より夢の「紅白歌合戦出場！」を目指し上京。歌の勉強をしてこの度2025年7月2日「日本クラウン」より第一弾シングル「あの娘はドッチッチ」をリリース、CD発売となりました。

これからは歌にお芝居、舞踊にと活躍の幅を広げはばたいて下さい。同窓会からも応援しております。



編集後記



いつも同窓会の活動にご理解をいただきありがとうございます。現在、同窓会役員を募集しています。ぜひ一緒に絆をつないでいきませんか。

役員一同

## 京都産業大学附属中学校高等学校 (旧 京都成安中学校高等学校) 同窓会 会報誌

■発行 京都産業大学附属中学校高等学校同窓会事務局  
京都市下京区中堂寺命婦町1-10 京都産業大学附属中学校高等学校内  
TEL (075) 279-0001  
■印刷 株式会社サラト TEL (079) 284-1380

Homecoming day

# 母校からのお知らせです!!

京都産業大学附属中学校高等学校同窓会 (旧 京都成安中学校高等学校)

## 2025年度 同窓会総会・懇親会ご案内

同窓会会員の皆様、お変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

2025年の同窓会の運営も新会員をお迎えし活気づいて参りました。

同窓会室もリニューアルして懐かしいアルバム展示など、楽しく集える所へと変わりつつあります。よりご利用しやすいようにしたいと工夫しています。

下記の通り2025年度の同窓会総会のご案内をさせていただきます。

今年の特別公演は、TV等でおなじみの民俗学専門の八木 透先生をお招きして「京都の歴史」が身近に感じられる楽しいお話をさせていただこうと計画しました。また、後輩たちが熱演してくれる魅力いっぱいの吹奏楽もお楽しみいただけると存じます。ぜひお誘いあわせで出席をお待ち申し上げます。

当日は学生時代に戻って同窓生同士や先生方と楽しかった頃を語り合い、同窓会の醍醐味を味わっていただきたいと存じます。

先生方や会員の皆様も総会を活用してくださってお仲間や学年会やクラス会などにもご活用いただけたらと考えています。

総会にご出席出来ない方も近況などをハガキに書いて投函下さったら嬉しいです。

会員皆様のご健康とご活躍をお祈りしています。

2025年 7月 吉日

京都産業大学附属中学校高等学校同窓会  
(旧京都成安中学校高等学校)

会長 堺 紀恵子

### 記

|       |   |  |
|-------|---|--|
| 日 時   | 2025年 9月27日(土) 10:30～14:00                                    |  |
| 場 所   | 京都産業大学附属中学校・高等学校<br>総会・特別公演 『むすびわざ館』 2階ホール<br>懇親会 『つむぎ亭』 1階食堂 |  |
| 受 付   | 10:00～  | 受付場所:むすびわざ館2階ホール前                          |
| 総 会   | 10:30～10:50   | むすびわざ館2階ホール                                |
| 特別公演  | 10:50～  | 【第1部】 講演 八木 透氏<br>テーマ 「京の七口の謎～都の境界に潜む鬼たち～」 |
|       | 11:30～11:40   | 休 憩  |
|       | 11:40～  | 【第2部】 演奏会<br>出演者:京都産業大学附属中学校・高等学校吹奏楽部      |
| 懇 親 会 | 12:30～14:00   | つむぎ亭                                       |
| 会 費   | ¥2,000 (懇親会参加者のみ・昼食付き)  |  |

元京都成安中学校高等学校校地は、「鞍馬口」!!  
京都産業大学附属中学校・高等学校は、「丹波口」!!  
何かの縁か!?  
京の七口にまつわる  
深～いお話を、  
是非共ご聴講下さい♪



八木 透 氏

◆現職 佛教学部歴史学教授・同大学院文学研究科教授  
◆専門分野 民俗学・家族史  
◆学位 文学博士  
◆経歴 1955年(昭和30年)京都市生まれ。祇園祭鉾町で江戸時代から続く白生地問屋の家筋に生まれる。生粋の京都市人。同志社大学文学部卒業、佛教学部大学院博士後期課程修了。毎年、祇園祭山鉾巡行と京都五山送り火では解説役としてテレビ出演している。  
◆役職 世界鬼学会会長、京都民俗学会会長、公益財団法人祇園祭綾傘鉾保存会理事、京都府および京都市文化財保護審議委員、日本山岳会京都・滋賀支部監事  
ほか 多数歴任

◆主要著書  
2001『婚姻と家族の民俗的構造』(単著、吉川弘文館)  
2002『京都の夏祭りと民俗信仰』(編著、昭和堂)  
2006『京都愛宕山と火伏せの祈り』(編著、昭和堂)  
2008『男と女の民俗誌』(共著、吉川弘文館)  
2013『新・民俗学を学ぶ』(編著、昭和堂)  
2015『京のまつりと祈り』(単著、昭和堂)  
2019『日本の民俗信仰を知るための30章』(単著、淡交社)  
2020『祇園祭 温故知新』(共著、淡交社)  
2021『日本の鬼図鑑』(監修著、青玄社)  
2025『京都万華鏡』(単著、KLK新書)

ほか多数

### 交通のご案内

- JR嵯峨野線(山陰本線)「丹波口」駅から徒歩約4分
- 阪急京都線「大宮」駅から徒歩約10分
- 京福電鉄嵐山本線「四条大宮」駅から徒歩約10分
- バス「五条壬生川」から徒歩約5分

総会会場となります「むすびわざ館」入口は、「京都産業大学附属中学校高等学校」敷地の東側にございます。



※準備の都合上、お手数ですが8月27日(水)までに、同封の返信用はがきにて出欠をお知らせください。

同窓会のHPを立ち上げております。右のQRコードを、スマートフォン等で読み込んでアクセスください。



<https://dousokai.site/ksu-jsh/>